

	<p>第321号 2016年2月1日 発行 )新日本スポーツ連盟 富山県連盟 〒930-0093 富山市内幸町3-23 パークビル4F 発行者 荒井英治</p>
--	--

## 第14回北信ブロックスキーフェスティバル in 志賀高原

北信ブロックスキーフェスティバルも14回目を迎えました。今シーズンは志賀高原でも積雪の心配がありましたが、参加者の熱い願いが通じたのか昨年12月の初滑りと同様十分に滑れる積雪がありました。今シーズンは石川・福井の皆さんが富山・長野よりも1日早く〈22日〉からスキーを楽しんでいました。23日(土)～24日(日)は富山・長野が加わり第1日目は天候にもめぐまれそれぞれのグループで新雪の志賀高原を存分に楽しみました。温泉につかった後の夕食&交流会は例年どおり、各県の銘酒や酒のつまみを美味しく頂きながら、スキー自慢やいろんな話に花が咲きました。夕食後は、大広間で全体交流、ブロック4県それぞれ工夫を凝らした出し物の後、今回は初めての空くじなしビンゴゲームでさらに盛り上がりました。そのあと、時間のたつのも忘れて飲んで語る部屋もありました。二日目は、前日の天気予報どうり朝から風雪がひどく滑れる状態でない中、例年やっているパネル滑走だけはやろうと30名ほどがゲレンデに出かけ一人一人が「戦争反対」「憲法守れ」のプラカードを掲げシュプレヒコールしながら、高天原ゲレンデをトレーンで滑り下りスキーヤーにアピールしました。パネル滑走終了後さらに風雪が強くなり14時30分の閉会式を繰り上げ、第15回フェスティバルも楽しいものにしよう確認しあって14回目のブロックフェスティバルが終了しました。 記：長谷川

全員で記念撮影



## 新日本スポーツ連盟創立50周年記念国際シンポジウムに参加して

その2

荒井英治

12月号で、パネリストの一人韓国のジョン・ヨン Cholさんの発言について少し触れました。再びここで彼の言葉を引用しながら、「スポーツと政治の軋轢・スポーツは政治とどう向き合っていくか」にテーマを絞って書いてみたいと思います。

私たちは、スポーツと政治という設問を提示された時、最初にどんな感情を持つのでしょうか。「ややこしいこと持ち出すな」と、スポーツと政治を同じテーブルに並べて議論することに拒絶の気持ちや抵抗を感じないでしょうか。この心理状態はどこからくるのでしょうか。スポーツという居心地良い（差障りのない）世界を政治という人間の争いの土足で荒らされたくない、そんな気持ちでしょうか。スポーツは各人それぞれの政治的信条や立場の違いを抜きにして、同じ土俵で交流できる貴重な世界といえるかもしれません。だから余計な刺激物や攪乱要因を持ち込まないことが、大人の流儀ということでしょう。ところが、ジョン・ヨン Cholさんはそうは考えないのです。彼は私たちが「スポーツ」と「政治」という水と油のように捉えている、2つのモノの間に「人権」という視点を介在させてスポーツと政治という2つの対象物を一つの視野に納めてしまうのです。ちょっとこれって荒唐じゃない、強引過ぎない、と感じるかも。でも少し考えてみるとそうでもないと思えてくるのです。人権ていったい何？と考えると、それは「特定の人だけじゃなくて、アナタもワタシも含めて全ての人々が納得のいく人生を送り、終えていく、そのための必須な人間社会の骨格」でことでしょう。このような構図の中で見ると、政治もスポーツも人間の幸福追求に奉仕するものであるべきです。とすれば、スポーツも政治もその目ざす目標は同じものだと言えます。そこに心理的障壁を設けることは意味がない、視界を狭めてしまうという点でマイナスであるとさえ言えるのでは。私たちが「スポーツに政治を持ち込まない、スポーツに政治を持ち込ませない」と言う時に問題なのは、誰に向けてその言葉を発しているかということだと思います。それによってその言葉の意味がまったく逆の意味になってしまうのです。簡単に言えば、強者が弱者を押さえつける言葉か、弱者が強者に対して異議をとる言葉か、どちらか一方にその意味が振り切れてしまうのです。

そのことを、そしてスポーツの光り輝く価値を示す事例としてジョン・ヨン Cholさんは次のように言っています。「1968年のメキシコオリンピック200m競技での受賞式で金メダルを獲得したトミー・スミスと銅メダルを取ったジョン・カーロスが黒い手袋はめて頭を下げたまま拳を握った手を振り上げています。当時、米国で起きている人種差別に抗議して、米国の国歌が鳴り響く瞬間、彼らは抵抗することを約束したのです。この二人の選手は、このことでメダルを奪われ、IOCから選手資格を永久剥奪されます。米国オリンピック代表からも追い出され本国に召還されます。この事件は黒人の人権運動史の重要な出来事として記憶され、後に彼らの名誉は回復されました。実際手を上げなかった銀メダリストのピーター・ノーマンの人生は私たちに連帯の本質について語ってくれます。ピーター・ノーマンは白人ですが遠い国の二人の黒人選手の抵抗に同調して、左胸に白いステッカーを貼って表彰台に上がります。Olympic Project for Human Rights(OPHR)・人権のための（を求めての、に奉仕する）オリンピックの意。彼はその後、白人至上主義

が広まっていた自分の祖国オーストラリアで徹底的に見捨てられ、生活を苦勞して生きて2006年10月9日、この世を去ります。その時オーストラリアに飛んできてピーター・ノーマンの最後の道と一緒にした二人の老人はトミーとジョンでした。彼らは抵抗に参加して一緒に抵抗してくれた同志を忘れず、人種差別という汚れを追い出すために自分を犠牲にした長年の友人のために再び共にしました。トミー・スミスとジョン・カーロスがピーター・ノーマンの棺を持って前に進むシーンは、まさにスポーツを通じて平和に向かって前進する姿を象徴するものでした。」この話を締めとして報告を終わります。

## 孫と一緒にスキーを楽しもう



### 2月の無料スキー教室開催

1月31日につづき、2回目の無料スキー教室を開きます。  
富山県スキー協議会のベテラン指導員が初心者から上級者  
までを対象に教えます。

小学生以上であればだれでも受講できます。

1回目の無料スキー教室を受けた方は2回目もどうぞ。

日時：2016年2月11日（祝）午前9時～午後3時

場所：雷鳥バレースキー場

集合場所：「ふじ食堂」前に9時までに集合

申込方法：ハガキ等に名前・住所・年齢・連絡先（電話）を書いて申込んでください。

申込先：〒939-0322 射水市上野465 荒井英治宛(TEL0766-56-3058)

## 各クラブの予定

### 富山ハイキングクラブ

2月7日（日）	小佐波御前山
2月14日（日）	カンナ尾山～大乘悟山
2月20日（土）	ねいの里・猫坂峠
2月27日（土）	八乙女山
3月6日（日）	牛岳

### 三島野スポーツクラブ

2月21日（日）	頼成山（雪の里山を楽しむ）
----------	---------------

早春の常願寺の流れを見ながら走りませんか

新日本スポーツ連盟第31回全国スポーツ祭典・陸上競技大会記念

## 第7回常願寺川マラソン・ジョギング大会のお知らせ

河川道路を走ります。初心者・初級者歓迎

2016年3月27日(日)



種目 5kmの部(男・女): 1往復

10kmの部(男・女): 2往復

両部とも午前9時30分同時スタート

\*順位表彰はしません。各自掲示時計にて確認

参加費: 中学生以上800円、

小学生以下500円(完走証・傷害保険・ドリンク・参加賞)当日払い可

当日参加も受付ますが中学生以上1,000円とします

受付: 午前8時30分~9時20分

常願寺川公園中央駐車場・公園事務所横にて

申込: 3月23日まで(以降は当日扱)FAXまたは、お近くの連盟員まで

Eメールも可 [aoyama\\_m@mou.ne.jp](mailto:aoyama_m@mou.ne.jp)

主催: 新日本スポーツ連盟 富山県連盟

富山市内幸町3-22パークビル4F

後援: 常願寺川公園管理事務所 076-463-2034

主管: 雷鳥ランニングクラブ FAXはこちら076-422-2852

問合せ 青山光夫へ 090-4683-9486



### 第7回常願寺川マラソン・ジョギング大会参加申込書

氏名		男 女	年齢	才(大会当日)
住所	〒		種目	km
連絡先電話		所属		

よろしければ、メールアドレスを